

旭混声合唱団広報 No.60

’97年11月8日

I 練習日程

月 日	時 間	会 場	備 考
11月 16日(日)	PM 7~9:30	春日井ハーモニー	地図別紙
23日(日)	"	旭ヶ丘公民館	
30日(日)	"	"	
12月 6日(土)	"	"	
14日(日)	"	本地ヶ原公民館	
21日(日)	"	旭ヶ丘公民館	
H10年 1月 11日(日)	"	"	
15日(木)	"	"	特練
18日(日)	"	"	
24日(土)	"	本地ヶ原公民館	
2月 1日(日)	"	未	
8日(日)	"	未	
11日(木)	PM 1:30~ 9:30	未	特練
14日(土)	7~9:30	未	
21日(土)	"	未	
22日(日)	旭混声、さざんか、ジョイントコンサート	エンゼルホール	

II “旭混声、”さざんか、ジョイントコンサート決定 いよいよ動きだす!

日 時：平成10年2月22日(日)

会 場：せとしん エンゼルホール

入場料：無 料

組織

実行委員長 早澤信昭

<チーフ>

- ①企画、構成、練習スケジュールの編成 担当：早澤信昭
- ②プロフム、ナラシ 他 担当：長谷川紀夫
- ③広報担当 OB、OGおよび関係団体へのPR：松本恵美子
- ④会場担当 当日の受付、駐車場、助人等のチーフ：合瀬頼弘正
- ⑤会計担当 予算編成、収支管理：中畠チズ子、大栗麻子
- ⑥衣裳担当 ステージごとの衣裳の決定：谷口賀子、小坂光代、林明子

会計(予算)

過去の演奏会から割り出した予算として30万必要とする。
 内 10万は 団費より
 残り 20万を 団員にて負担する
 したがって 演奏会費用として H10年 11月～2月(4ヶ月間)迄
 2000円 徴収いたしますので よろしくお願ひいたします。
 なお、集金時は 大変混雑いたしますので あつりのないよう 即場
 力下さい。

III 新入団員紹介

リプロ／福地智子さんです。
 いま23歳の初々しい新人さんです

ともちゃんとか
ともにちゃんと
呼んで下さい

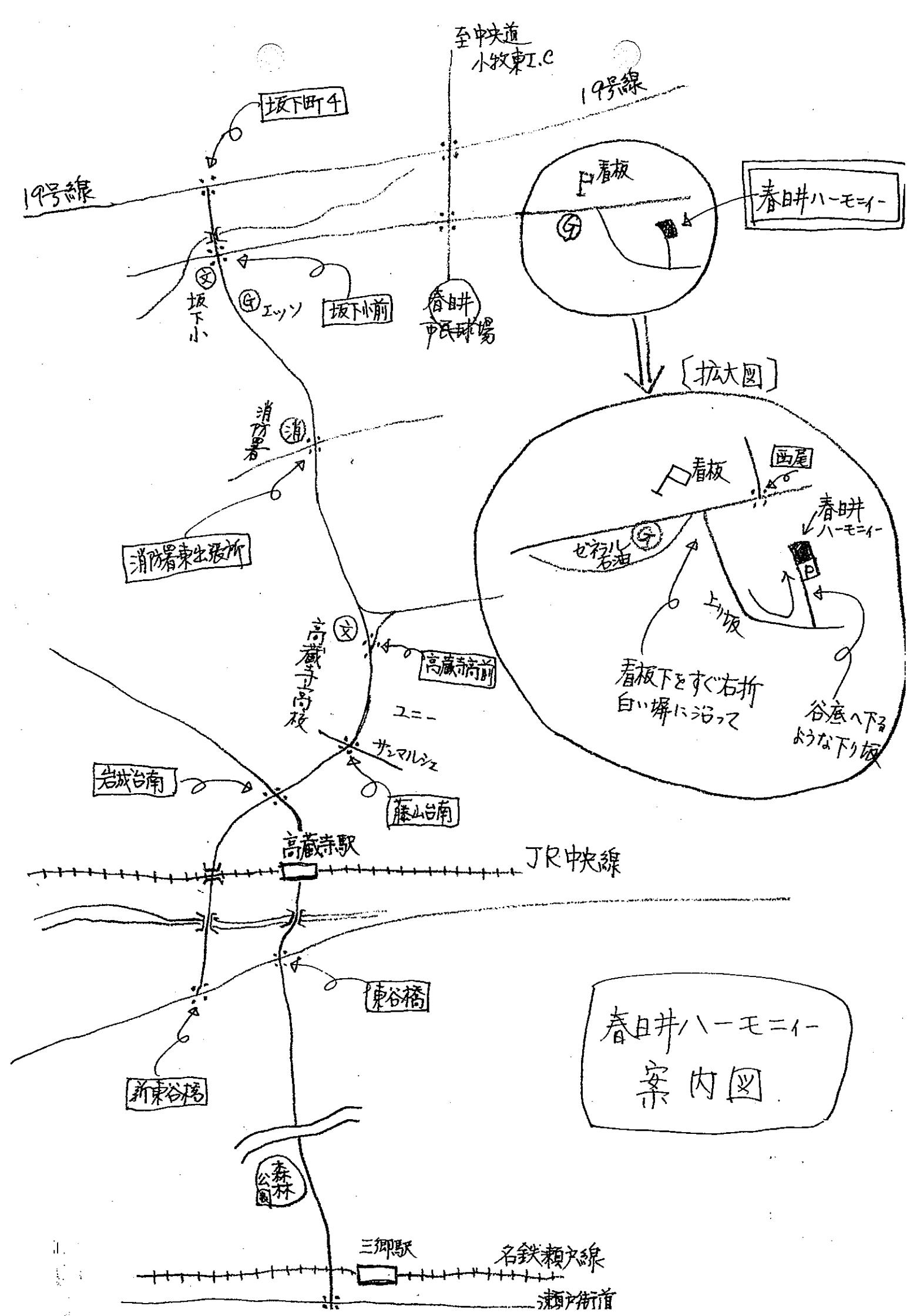
IV コンサートのご案内

- ▷ 11月 16日(日) 名古屋二期会“フレッシュコンサート No.16。
 ヒニコ：ザ・コンサートホール 開演：2:00 PM
 入場料：2000円
- ▷ 11月 22日(土) ニューヘルト・ミサ 連続演奏会 No.1
 西脇コルキル江、ニュータウンエコー、瀬戸市民合唱団
 ヒニコ：西脇文化勤労会館大ホール 開演：6:30 PM
 入場料：1000円
- ▷ 11月 24日(月) “越智章仁 はたちを記念して、
 ヒニコ：佐屋町中央公民館 開演：2:00 PM
 入場料：2000円
- ▷ 12月 20日(土) セント・ミカエル・ワワイア オケ演奏会
 ヒニコ：ザ・コンサートホール 開演：6:00 PM
 入場料：4000円 (当日4500円)

テニス同好会より

- 11月16日(日) 12:30~14:30 旭ヶ丘テニスコート
 11月30日(日) 10:30~14:30 "
- 12月 7日(日) 10:30~14:30 "

参加費 100円
 ラケットのない方は予備かい
 あります



旭混声合唱団演奏会の開催について

H 9. 10. 9

1 開催の趣旨

松井先生がこの度ドイツへ留学することとなり、これに伴い当団をH 10年3月末をもって退団されることとなったため、当団としての一つの区切りとして、また松井先生にご指導を得た間の練習の成果を発表するために開催を企画するものである。

なお、この背景にはかねてから当団においては10周年記念演奏会の開催が懸案となっており、それが指揮者の交代により延期されていたこと、今回の機会を逃せばいつまた開催ができるかわからないこと、女性陣の衣裳新調のお披露目の絶好の機会でもあること等の事情がある。

2 開催の規模および主体

本来なら旭混声合唱団の単独開催が望ましいとは思うものの、手持ちの曲数および許された時間等を考え合わせると到底困難であろう。

そのため、次善の策として当団が主体となった、他の合唱団とのジョイント開催案が現実的と考えられる。,

3 ジョイントの相手

今回の開催が、我々の合唱団のためとはいいうものの、松井先生の関連の方がより強いため、どうせなら松井先生と縁のある合唱団との組み合せが望ましいものと考えて、稲沢市のさざんか合唱団を候補としてあげた。

松井先生自身には異存がなかったため、さざんか合唱団に当たったところ、後述の開催時期との関係で10月9日に正式な回答が得られることとなった。これは丁度その頃稲沢市の文化祭があり出演する必要があるからである。

4 開催期日

松井先生のご都合 結婚式が来年2月7日に予定され、ドイツへの出発が3月末であるところから、その間となる。

石川先生のご都合 2、3月では、3月1日および3月8日に仕事が入っており、それ以外はOK。

そうなると、2月15日か2月22日のいずれかで、かつ、さざんか合唱団の都合のよい方となる。

5 会場の候補

さざんか合唱団が遠方から來ることを考慮すれば、できるだけ交通の便の良いところが望ましい。そこで以下の会場を候補として考えた。

- (1) エンゼルホール
- (2) 旭文化ホール(あさひのホールでも可)
- (3) 瀬戸市民会館(瀬戸市記念橋)

中畠夫人が当たったところ、今のところ両日とも空いていることが分かった。

なお、申し込みは3ヵ月前の該当日であるため一応間に合う。

6 運営の方法

まず有料とするか無料とするかの問題があるが、開催の準備期間が短いこと、演奏曲目が比較的平易なものであること、無料であれば会場が取りやすく会場使用料が安いこと等を考えあわせると無料であるほうが良いのではないかと考える。

また、ざんか合唱団は遠方であり、女性ばかりであるところから、運営の主体は旭混声合唱団とし、ざんか合唱団は当日のお手伝い程度にして客演としたらどうか。

7 演奏方式

ステージ数は、今後の練習時間を考慮すれば3ステージが限度と考えられる（松井先生のご判断）。両合唱団の分担は旭2、ざんか1とする。合同演奏も考えたが無理との松井先生の意見もあって止めることとした。

また、旭の1ステージは平井康三郎作曲集などとするが、残る1ステージをどうするかについて、目下、松井、石川両先生と調整中である。できれば最後のステージとしてまとまりのある曲としたい。

8 準備および実施体制

演奏会の開催を準備し当日の運営を図るには、役員を始めとする全員の協力が必要であるが、それだけでなくきちんとした専任の体制を確立する必要がある。

まずリーダーは過去に演奏会の運営に当たった経験のある人が望ましい。

その他の役割分担としては以下のものが考えられる。

- 企画担当 全体計画の作成および行程管理 幸久を中心とした原案
- 文書担当 宣伝チラシ、プログラムの作成 幸久、各会員
- 広報担当 O B、OGおよび関係団体等へのPR 総務 不幸

衣裳担当 ステージごとの衣裳の決定 現衣裳

技術担当 練習スケジュールの編成、調律手配 幸久、石川

会場担当 音響板、ヒナ壇の手配 予定表、会場準備

会計担当 予算編成、収支管理 現会計

アテンダント →

9 その他 諸めぐらし →

予算は
30万(内10万は国費から) 月1500円 4ヶ月 6000円

①5000円

2回

予算 1月15日
1月末日